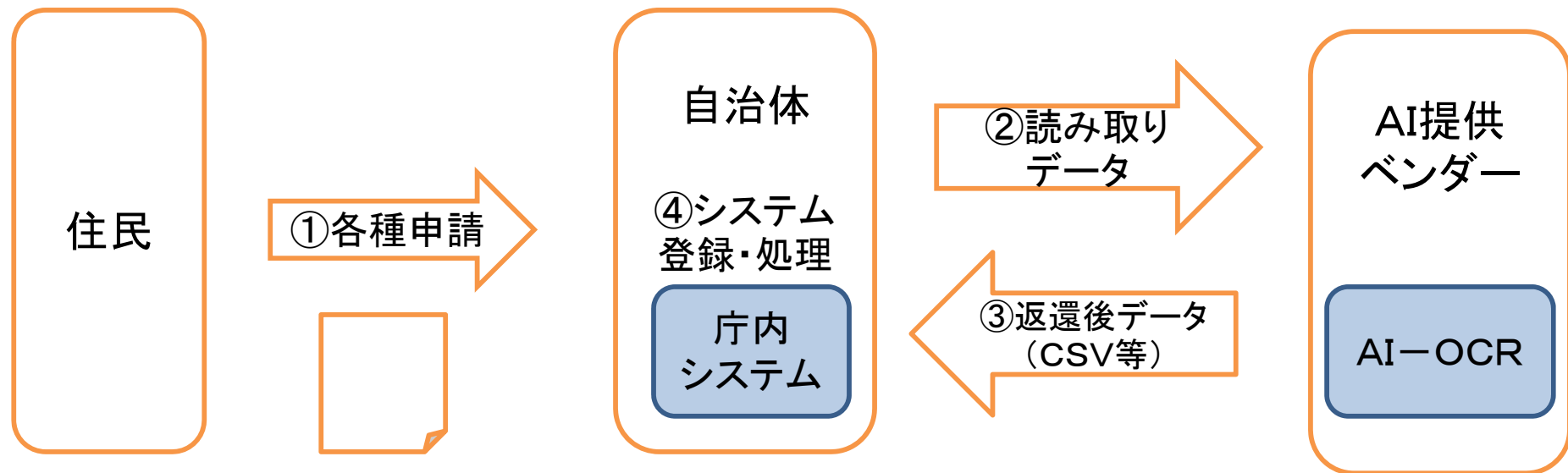


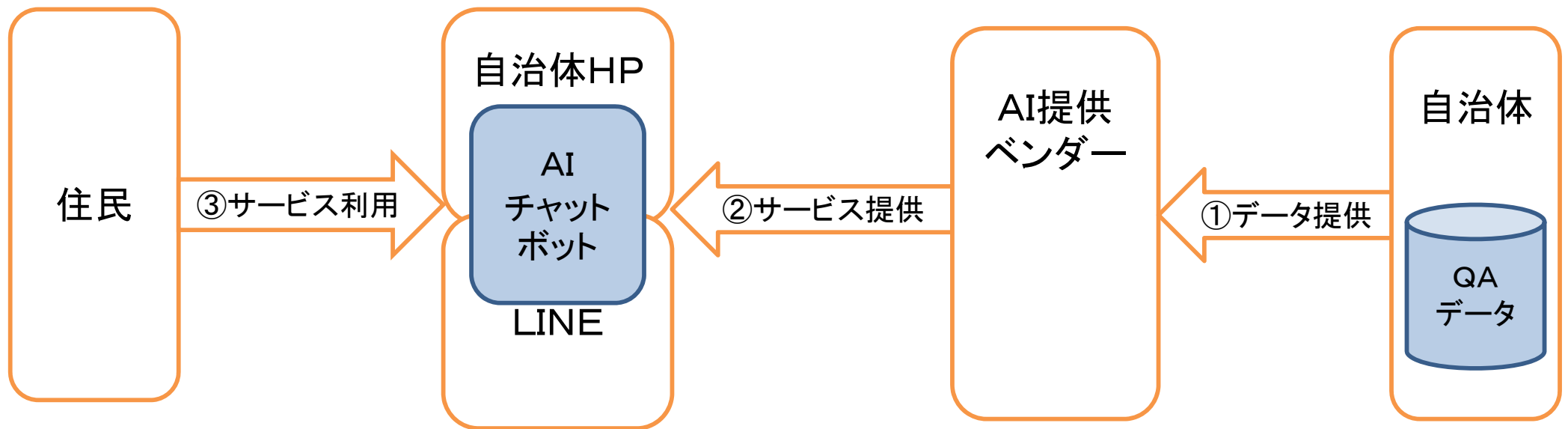
AI-OCRとRPAを組み合わせた業務改善

提案者	志木市		
実施地域	志木市	分野別モデル	AI-OCR
事業概要	定型業務処理に時間が奪われている。そこで紙の申請書・届出書の読み取りをAI-OCRで自動化する。さらに業務フローを見直しながら、システム入力をRPAで自動化する。それにより職員の手作業による処理時間を短縮し、業務の効率化を図る。当年度は4シナリオを作成し、次年度以降も順次対象業務を拡大する。		









AIチャットロボットによる問合せ自動対応

提案者	志木市		
実施地域	志木市	分野別モデル	チャットロボット
事業概要	自治体への問合せ対応が職員の負担となっている。AIチャットロボット導入することで、問合せ対応を自動化し職員負担を軽減する。また、24時間の問合せ対応が可能となることによる住民サービスの向上、問い合わせ内容の分析による住民のニーズに合致したQA情報の整備を行う。		



AI音声認識機能による議事録作成支援事業

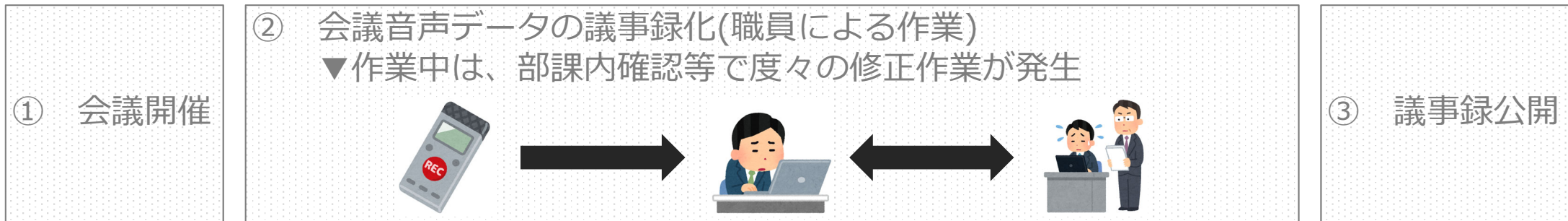
提案者	土岐市		
実施地域	土岐市	分野別モデル	AI音声認識
事業概要	土岐市では新型コロナウイルス感染症対応などの重点施策を推進するための人的資源を確保するため、既存業務の省力化が課題となっている。AIを活用した議事録作成システムを導入することにより、議事録作成に要する時間を削減することで課題を解決し、削減された時間を新型コロナウイルス感染症対応などの重点施策を推進のために活用することで行政サービスを向上させる。		

	会議中	編集	AI学習
現状	ICレコーダで録音 	職員が音声データと会議資料を確認しながら手作業で議事録を作成する 作成にかかる時間 年間740時間 	職員の手によるところがほとんどのため劇的な省力化は困難
導入後	マイクスピーカシステムで録音することで認識精度を向上、ウェブ会議でも活用できる	<ol style="list-style-type: none"> 一次作成はAIを利用した議事録作成システムが自動で作成  職員は見直し作業で良いため業務時間を削減できる 最大370時間  削減された時間で重点施策を推進  	AIが方言などを学んで変換精度が向上することで、より業務時間の削減が期待できる 

AI議事録導入事業

提案者	豊田市		
実施地域	豊田市	分野別モデル	AI活用
事業概要	○多様化する市民ニーズに対応することで増加する業務と並行して、それらに関する施策を検討する会議体も増加している。これらの議事録を作成することはその後の施策検討等において重要である。ただ、議事録作成に多くの時間を割いていることは業務効率化の面で非効率であることから、AI議事録を導入することで議事録作成を効率化し、行政組織の事務効率化、職員の事務負担軽減、市民サービスの向上を推進する。		

AI議事録導入前



AI議事録導入後



保育所入所AI選考システム導入事業

提案者	愛知県清須市		
実施地域	清須市内	分野別モデル	保育所マッチング
事業概要	職員が手作業で行っていた保育所入所選考事務をAIシステム化することにより、事務作業時間の削減と、入所可否通知の早期発送による住民サービス向上を図る。		



トータル的な
事務効率化

AIを活用して
選考業務全体をより早く



選考根拠を
示すAI

選考理由がわかることで、
安全に



きめ細やかで
丁寧な選考

多様化するニーズにも
応えることで、親切に

課題解決

期待効果

業務
効率化

- ・職員の負担を軽減し、より付加価値の高い業務に専念できる
- ・人事異動により、担当者が変わっても、永続的な業務効率化に貢献する
- ・その結果、職員の働き方改革の推進に寄与する

市民
サービス
向上

- ・保護者への通知を早めることで、保育園入園に向けた準備が余裕を持って行うことができる（次の選考に向けた時間確保）
- ・市民の家庭状況や多様化したニーズを確実に早く反映できる
- ・保護者へ納得できる選考結果の説明ができる

保育所AI入所選考システム導入事業

提案者	大分市		
実施地域	大分市	分野別モデル	AIによる保育所入所選考マッチング
事業概要	「AI入所選考システム」を新たに導入することで、入所選考作業に係る時間を削減し、入所可否決定通知を早期に発送するなど、一層の市民サービスの向上を図る。		

概要

◆入所選考作業の自動化

保育所への入所申込に対して、現在、職員が手動で行っている入所選考作業を、AIシステムを導入し自動で行う。

◆福祉総合システムとの連携

選考作業に必要なデータを福祉総合システムから抽出し、AIにて先行した結果のデータを、また福祉総合システムへ反映できる仕組みを構築する。

導入までの流れ

AIシステム導入	令和2年度										令和3年度	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
		★	第1回選定委員会(仕様等決定)									
					★	第2回選定委員会(受託候補者決定)						
							★	契約				
								構築				
								福祉システム改修				
												★本稼働

導入効果

◆AIによる処理により作業時間が大幅に短縮され、そのことにより生じた時間を利用して未入所となった児童へ受入可能な施設を別途案内するなど、待機児童対策の拡充が図られる。

◆入所選考作業が早期に終了することから、保護者へのより早い結果通知が可能となり、早期復職が実現する。

	11月	12月	1月	2月
現状		4月入所申込受付・入力(37日)	入所選考(20日) ・手動選考10日 ・個別処理10日	施設へ受入依頼等(20日) ★通知発送
AI		4月入所申込受付・入力(37日)	入所選考(10日) ・AI選考 数秒 ・個別処理10日	施設へ受入依頼等(20日) ★通知発送

貝塚・泉州テレワーク推進事業

提案者	株式会社ポートフォリオ		
実施地域	大阪府貝塚市	分野別モデル	働き方(テレワーク)
事業概要	南海貝塚駅前にテレワーク拠点を整備し、職住近接環境を創出するとともに、エリア内外の事業者・ワーカーの交流を促進し、エリアの人口減少に歯止めをかけるとともに、中長期的な新産業創出を実現する。		

